



チカラ合わせて元気よく！



令和2年1月1日

第113号

発行 油繩子学区コミュニティ
推進会調査広報部
会長 白土敏夫
事務局 油繩子交流センター
TEL (38) 7531
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-yunago/index.html>

新年の御挨拶

油繩子コミュニティ推進会

会長 白土敏夫

新年あけましておめでとう
ございます。油繩子学区内
にお住いになる皆様におかれま
しては、令和初めての新年、
お幸せな年を迎えられたこと
と、お慶び申し上げます。

昨年は皆さんの協力により
国体が盛大に行われました。
当学区では計画した行事を実
施することが出来ました。運
動会は前日の雨の影響で、体
育館で初めて実施しました
が、校庭でやるのと違った雰
囲気でこじんまりとまとまっ
て、体育館で行うのもいいの
ではと思いました。ゆなご三
世代秋祭りでは、毎年恒例の
多賀中吹奏楽の演奏で始ま
り、アコーディオン奏者「み
さびー」さんを初めてお願い
し、大変盛り上がることで

きました。健康講演会では地
元の川崎胃腸科肛門科病院の
川崎院長先生において戴き、
『便秘と痔について』と題し
て、通便の大切さを知り大変
勉強になりました。文化講演
会では、『ある町の高い煙突』
の松村監督、プロデューサー
城之内様、俳優の城之内正昭
様において戴き映画作成にあ
たっての苦労話や裏話などを
聞き、映画を見るのが楽しみ
になりました。

今年、オリンピック・パ
ラリンピックが東京で行われ
ます。日本選手がどのくらい
メダルを取ることができ
るか、楽しみにテレビ観戦をし
ながら応援をしたいと思っ
ています。それに明秀学園日立
サッカー部がどこまで勝ち続
けられるか、楽しみです。

当学区の行事に関しても、
例年以上に、皆様に楽しく参
加して戴けるような内容を計
画していきたいと思っていま
す。何をすることも皆様方のご
協力がなければ成功はできま
せんので、ご協力宜しくお願
い致します。
令和に成り初めての年を迎
え、皆様ご家族の健康とご多
幸を祈念しまして、新年のあ
いさつとさせていただきます。

油繩子コミュニティ推進会・行事予定(1月~3月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	シルバーリハビリ体操	毎月第2 木曜日
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	わくわくクラブ	毎月第3 土曜日
おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)	交流センター休館日	12月29日(日)~1月3日(金)
油繩子ふれあい茶話会	毎月第2 水曜日	賀詞交歓会	1月11日(土)
国分ふれあい茶話会	毎月第4 火曜日	油繩子学区連絡委員会	2月21日(金)

防災訓練・運動会

十月二十日(日)防災訓練と運動会が今回も四集団に分かれて実施されました。

防災訓練では多賀消防署員の指導のもと、水および粉末消火器の操作、バケツリレーでの消火訓練や煙体験、更に救命訓練では、人形によるAEDの操作方法を実施。併せて、今回新たに「圧迫くんライト」二十個を使用した心臓マッサージをたくさんのお親子が体験をしました。今年も参加者全員がそれぞれの訓練に真剣に取り組む有意義な体験ができたと思います。毎年行われる防災訓練の目的は、繰り返し継続することにより、災害時に迅速な対応が出来る事だと思いません。

(伊藤 茂)

今年の運動会は、グラウンドコンディションを考慮し、体育館で行われました。

体育館のため、例年と同種目でもコンパクトな形での競

技となりましたが、大きな混乱もなく競技が展開されました。また、応援席もより身近になり各集団とも競技者と応援者の一体感があり、盛り上がりしました。

集団対抗では、白集団が久々の優勝。三位、四位は同点で代表者によるじゃんけんでの決着となりました。

ラジオ体操でお世話になった市民教授の及川様、ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様方、実行委員の方々に心より感謝申し上げます。

(根本 弘道)



よく聴いて覚えましょう(心臓マッサージ)



お腹が空きましたハイどうぞ(豚汁)



ボク手で取ってもいいよ(パン食い競争)



よくねらいましょう(玉入れ)

ゆなご三世代秋まつり

十一月十日初冬の青空の下、学区内のたくさんのお子どもたち、保護者世代、シニア世代と文字通り三世代が集い「ゆなご三世代秋まつり」が開かれました。

今年もオープニングは多賀中吹奏楽部。華やかな演奏とともに、親しみやすい歌まで披露していただきました。

子どもの広場では、小さな子どもたちも楽しめる輪投げや的当てなどのゲーム。模擬店は、あんこ餅ときなこ餅、カレーライス、唐揚げ、綿あめ、ポップコーンにかき氷と行列ができるほどの人気。室内では、豆つまみや握力と血管年齢測定などの健康コーナー、油縄子学区コミュニティ会による展示、そして喫茶コーナー。

歩くアコーディオン弾き「みさびー」さんに演奏して頂き新鮮で楽しいひと時でした。最後の抽選会まで楽しく盛り上がった半日となりました。

ご協力をいただきました実行委員の方々に心より感謝申し上げます。

(根本 弘道)



「みさびー」さん登場



しっかり7番当てたよ!



多賀中吹奏楽部の皆さん

学校だより



集団から学ぶこと

日立市立油縄子小学校

校長 古内 勝紀

油縄子小学校では、異学年交流を大切にしています。

一つ目は縦割り班活動です。一年生から六年生を六グループに分け、縦割り班を編制します。月一回の木曜日の昼休み（キッズタイムと称したロングの昼休み）時間に、毎回内容を変えて交流します。内容は愛校作業や自由遊び、班対抗スポーツレクリエーションをします。低学年は高学年に手を引かれながら、高学年は低学年の面倒をよく見ながら、楽しい時間を過ごしています。

二つ目は、学期に一回、四年生以上でドッジボール大会を開催しています。子どもたち

ちは大会に向けて、休み時間に一生懸命に練習しています。

相手チームに勝つためにはどうしたらよいか、攻撃の仕方や守り方等、様々な作戦を時間を見つけてはみんなで話し合う姿も見られ、学級づくりにも生かされています。活動を通して、人を思いやる心、協力する心、コミュニケーション力等、いろいろな力が育まれていると感じます。

学校は、多くの人々が集まる集団生活の場です。学習の場であると同時に、社会生活の場でもあります。毎日の生活を送りながら、子どもたちはコミュニケーション能力を育んだり、あいさつの大切さを知ったり、人との関わり方を学んだりしています。

これからも、様々な学校や地域での活動等、多くの交流の場を大切にしていきたいです。「自分を大切にするとともに相手も大切にする」



みんなの笑顔があふれる油縄子小学校になるよう、取り組んでいきます。



ドッジボール大会



縦割り（玉入れ）

「わくわくクラブ」の活動

六月から月一回のわくわくクラブが始まりました。

集まった児童三十三名は、一年生から六年生まで幅広いのでそれぞれ感性豊かに工作・卓球・絵本づくりなどに、一生懸命取り組んでいます。卓球は、窪先生に指導して頂き、昨年より上達していて汗びっしょりになりながら玉を追い、ラケットを振っていました。絵本づくりは、今回初めての経験でしたが、絵本作家の田澤先生から教えて頂き目を輝かせながら取り組んでいました。二月は絵本を完成させみんなで発表できるのを楽しみにしています。

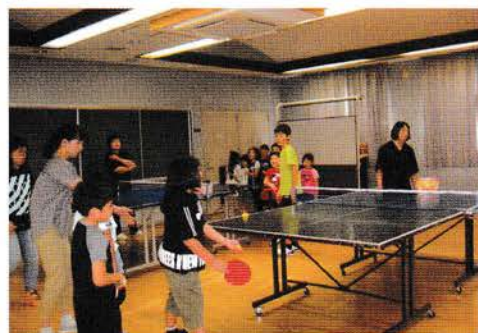
これからは、クリスマスツリー作りや、ダンスなどに挑戦していきます。

出来ないことが出来た時の喜び・完成した時のうれしさ、みんなでやることの楽しさを一年を通して少しでも育ってもらえたらと願っています。

(風間 康子)



絵本づくり ハイよく見てね！



卓球いくわよ！

ふるさと再発見 ウォークの魅力

ふるさと再発見ウォークは市内各地域で毎年実施しています。

この行事は、日立市報でPRしているように、歩きながら、その地に残る史跡や歴史を学ぶもので、今まで気付かなかった事を発見することの喜び等を体感できる大変有意義な魅力ある行事です。

油繩子のコースは、普濟寺跡―八幡神社―御稗蔵跡―念仏橋―相馬の碑―要害城址―児泣きが浜です。十月二十七日、小雨降る中、実施をしました。

その中で、要害クラブの敷地の中に大きな鬼瓦がありました。その鬼瓦は、現在多賀市民プラザになっている、清和館武徳殿の鬼瓦です。このように、新たな発見がありま

す。

地域の歴史を知るためにも、親子やお孫さんと一緒に参加しながら、地元の良さを再発見していただきたいと思います。

毎年秋には開催を予定しておりますので、皆様是非とも参加をしていただきたくご案内いたします。

(照井 修)



参加者一同



要害クラブの鬼瓦



念 仏 橋



八 幡 神 社

お知らせ

四月からの行事に協力していただける方を募集します。募集するのは、次になります。

○市報の梱包及び配達

● 仕事の内容

交流センターで町内会・自治会ごとに市報の梱包を行い配達をする。

● 活動日数

月二回(原則)

● 詳細は交流センターへ問い合わせください。

○盆踊り大会ボランティア

○防災・運動会ボランティア

○広報紙「油繩子」の編集ボランティア

後日改めて、募集のチラシを発行します。

編集後記

令和も二年となり新元号にも漸く馴染んで参りました。新春にふさわしく年齢に合った賀の祝いを述べます。
還暦：六十才。再び生まれ年の干支に還る事から。

古稀：七十才。「人生七十古来稀」の漢詩から。

喜寿：七十七才。喜の字の草書体が七十七から。

傘寿：八十才。傘の字の略字が八十から。

米寿：八十八才。米の字を分解すると八十八から。
(私事で恐縮ですが昨年の八月に米寿を迎えました。)

卒寿：九十才。卒の通用異体字の卒を九十と読む事から。

白寿：九十九才。百の字から一をとれば白となり九十九となる事から。

ちなみに、昨年十月現在の日立市の高齢者(六十五才以上)は約五万六千七百人で総人口の凡そ三十二%、約三人に一人の割合です。

市の百才以上の方は百三名、最高齢は百八才との事です。今後益々高齢化の進む中、健康で年を重ねる事が人生最大の幸せだと思います。

(松原 武)